

# 東海の果樹をめぐる情勢



令和 6 年 2 月  
東海農政局生産部  
園芸特産課



# 1-1 果樹の生産状況（栽培面積）

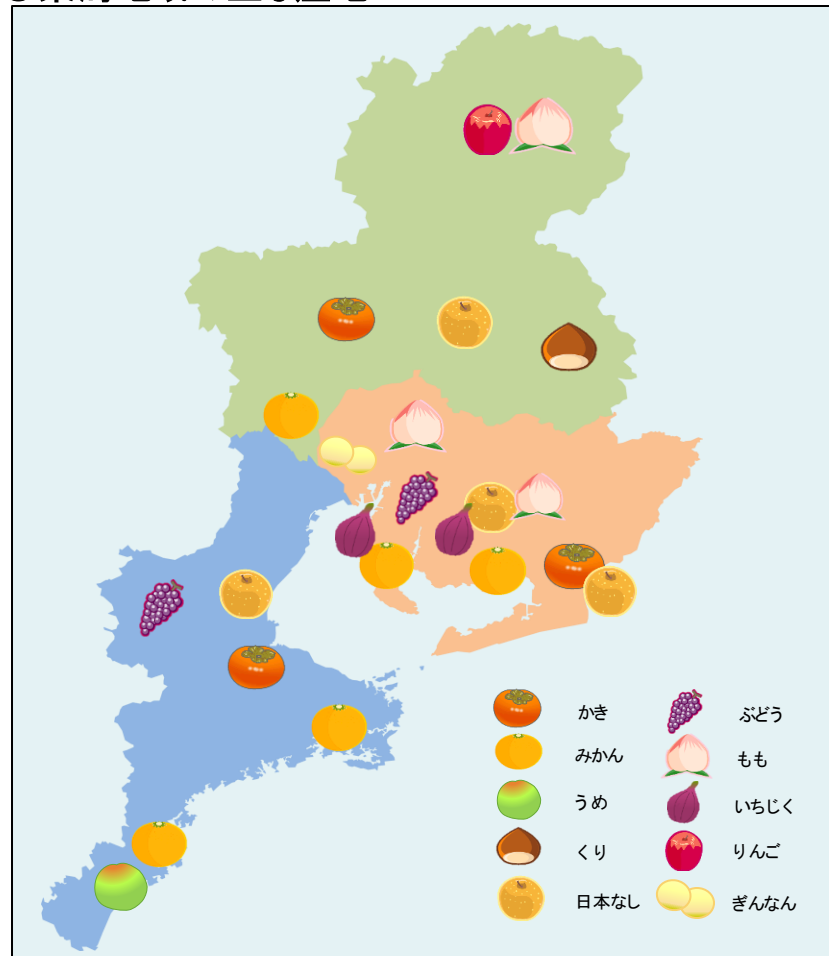
- 東海地域では、岐阜県飛騨地域の高冷地から、愛知県知多地域・東三河地域、三重県紀州地域の温暖な地域まで多様な気象条件を活かした果樹生産が行われている。
- 主な品目は、かき、みかん、うめ、くり、日本なし、ぶどう、もも。
- 岐阜県のかき、愛知県のいちじく、ハウスマカン、ぎんなんは全国上位を占める。

## ○主な果樹の栽培面積(令和2年)

(ha)

品目	東海	東海			全国	東海のシェア
		岐阜県	愛知県	三重県		
かき	2,695	全国 1,250 3位	1,060	385	19,000	14.2%
みかん	2,425	75	1,300	1,050	39,800	6.1%
うめ	805	165	385	255	14,800	5.4%
くり	781	442	193	146	17,900	4.4%
日本なし	601	117	339	145	11,000	5.5%
ぶどう	596	34	451	111	17,800	3.3%
みかん以外の かんきつ類	508	12	156	340	24,600	2.1%
もも	284	68	206	10	10,100	2.8%
その他の 政令指定品目	206	115	52	39	49,844	0.4%
政令指定品目合計 ※1	8,901	2,278	4,142	2,481	204,844	4.3%
参考 ハウスマカン※2	86	-	全国 2位 80	6	345	24.9%
参考 いちじく※3	130	11.5	全国 1位 115.6	2.4	831	15.6%
参考 ぎんなん※3	73	7.2	全国 2位 61.2	4.6	556	13.1%

## ○東海地域の主な産地



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」

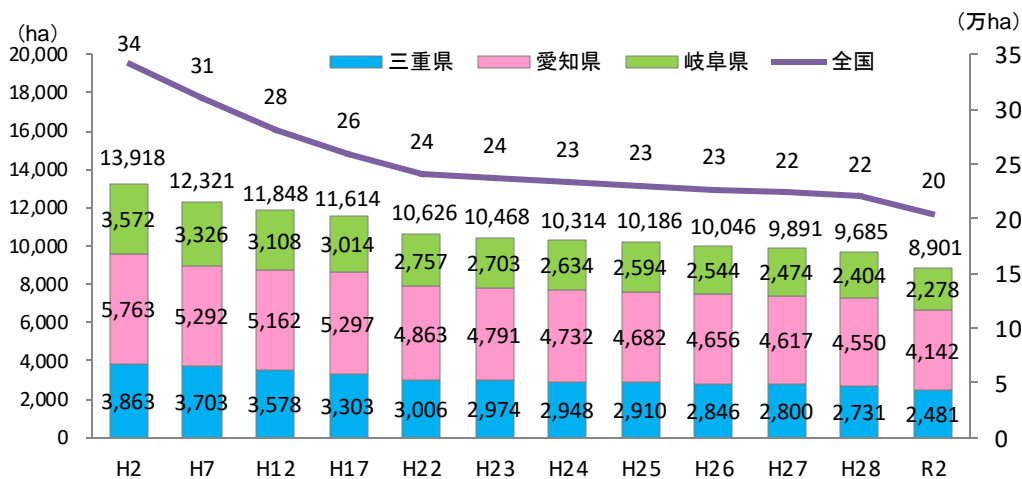
※1 政令指定品目(かんきつ類、りんご、ぶどう、なし、もも、おうとう、びわ、かき、くり、うめ、すもも、キウイフルーツ及びパイナップル)は、「耕地及び作付面積統計」栽培面積(令和2年産)

※2 ハウスマカンは、「果樹生産出荷統計」結果樹面積(令和4年産)、※3 いちじく・ぎんなんは、「特産果樹生産動態等調査」栽培面積(令和3年産) 「-」はデータなし。

# 1-2 果樹の生産状況（栽培面積の推移、農業地域区分別面積割合、県別の主な品目の出荷量）

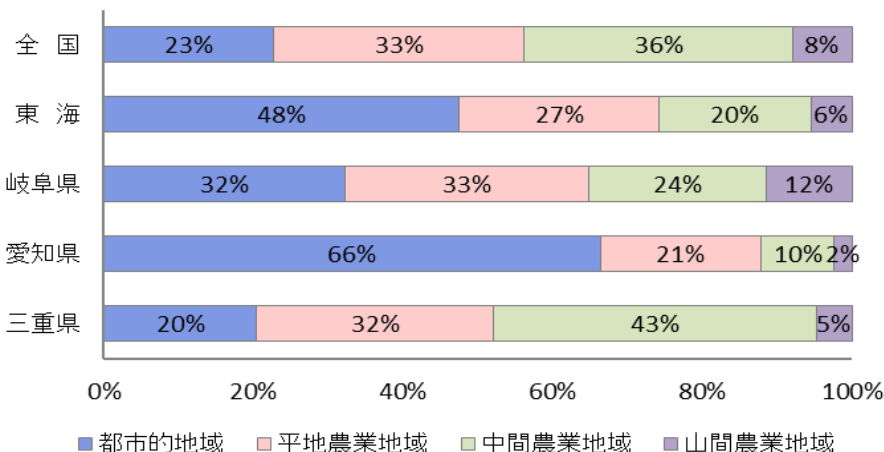
- 東海3県の果樹の栽培面積は、全国と同様、緩やかな減少傾向で推移。
- 農業地域類型別栽培面積では、全国に比べ、特に愛知県で都市的地域の割合が66%と高い。
- 東海3県で出荷量が最も多い果樹はみかんであり、愛知県と三重県で第1位の出荷品目となっている。

## ○果樹の栽培面積の推移



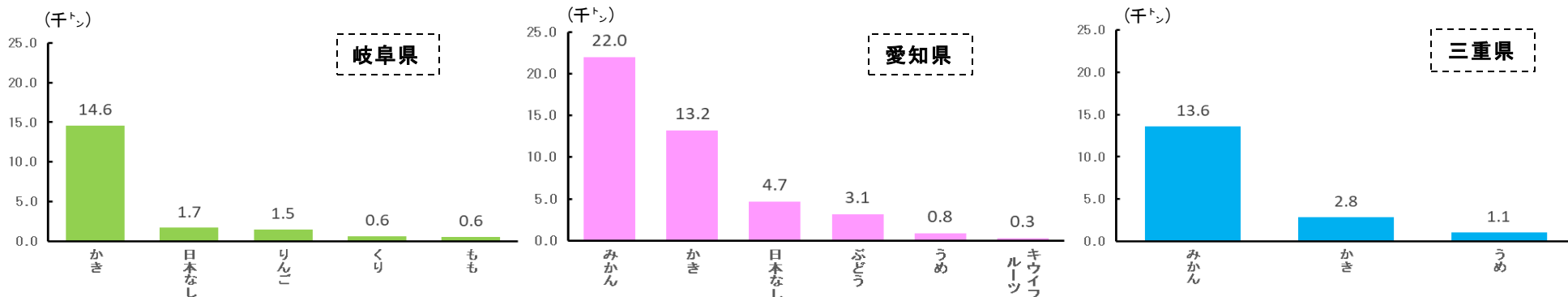
資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計」

## ○農業地域類型区分別栽培面積割合(令和2年)



資料:2020農林業センサス「農業地域類型別報告書」

## ○県別の主な品目の出荷量の状況(令和4年産)



資料:農林水産省「果樹生産出荷統計」

調査対象:みかん、りんご、日本なし、西洋なし、かき、びわ、もも、すもも、おうとう、うめ、ぶどう、くり、パインアップル及びキウイフルーツの主産県(調査対象品目ごとに、全国の栽培面積のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県とし、その範囲に該当しない都道府県であっても、果樹共済事業を実施する都道府県)

(参考)出荷量が全国上位5位に入る東海地域の品目(令和3年産)

かき			
順位	都道府県名	出荷量 (t)	割合 (%)
	全国	185,900	100
1	和歌山	37,900	20
2	奈良	27,400	15
3	福岡	16,100	9
4	岐阜	14,600	8
5	愛知	13,200	7

くり			
順位	都道府県名	出荷量 (t)	割合 (%)
	全国	12,700	100
1	茨城	3,370	27
2	熊本	2,050	16
3	愛媛	1,010	8
4	岐阜	628	5
5	長野	613	5

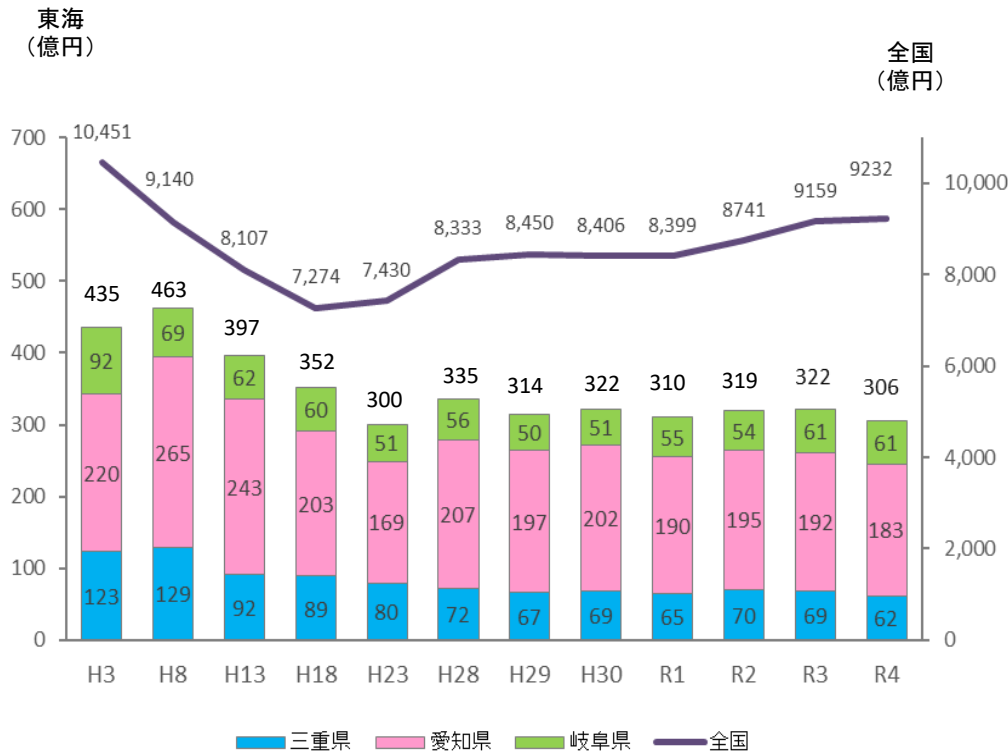
いちじく			
順位	都道府県名	出荷量 (t)	割合 (%)
	全国	9,171	100
1	和歌山	1,688	18
2	愛知	1,502	16
3	大阪	1,199	13
4	兵庫	1,064	12
5	福岡	796	9

資料:かき、くりは、農林水産省「果樹生産出荷統計」、いちじくは、「特産果樹生産動態等調査」

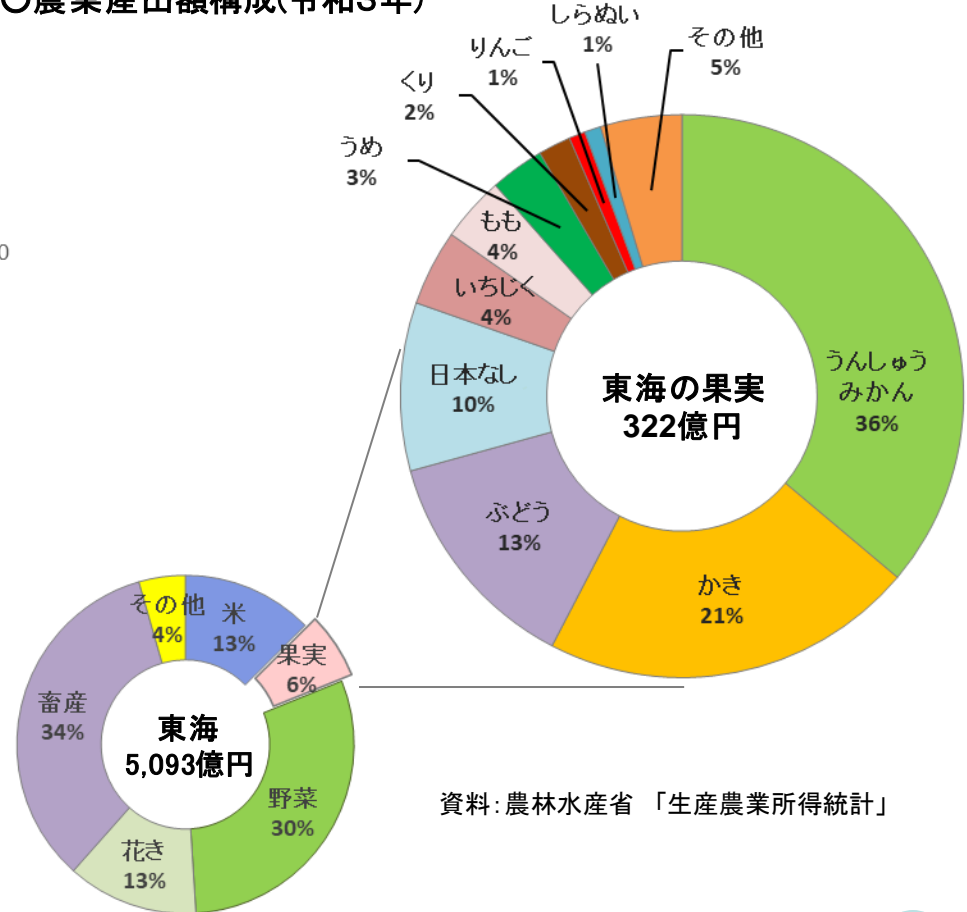
## 2-1 果実の産出額

- 東海3県の果実の産出額は、栽培面積が減少する中で、単価向上等により近年横ばいで推移。
- 農業産出額全体に占める果実の割合は、6%。
- 果実の品目別では、うんしゅうみかん、かき、ぶどう、日本なしの順に多く、この4品目で全体の8割を占める。

○果実の産出額の推移



○農業産出額構成(令和3年)



資料:農林水産省「生産農業所得統計」

資料:農林水産省「生産農業所得統計」  
※R4は第1報

## 2-2 果実の産出額(県別)

- 岐阜県は、かきが全国4位で、果実全体の約6割を占める。
- 愛知県は、かきが全国5位、みかんが全国7位、ぶどう及びももが全国9位で、全国で上位を占める品目が多い。
- 三重県は、みかんが全国11位で、果実全体の約5割を占める。

### ○県別農業産出額のうち上位50品目に含まれる果実の産出額(令和3年)

#### 【岐阜県】


順位	品目	産出額 (億円)	全国 順位
1	かき	37	4
2	日本なし	7	25
3	りんご	3	11
4	もも	2	17
	みかん	2	22
	ぶどう	2	44
7	うめ	1	31
県計		61	35

#### 【愛知県】

順位	品目	産出額 (億円)	全国 順位
1	みかん	81	7
2	ぶどう	35	9
3	かき	28	5
4	日本なし	16	14
5	もも	9	9
6	うめ	2	19
県計		192	13

#### 【三重県】

順位	品目	産出額 (億円)	全国 順位
1	みかん	33	11
2	日本なし	8	23
3	うめ	7	4
4	ぶどう	5	38
5	かき	4	19
県計		69	31

 全国順位が上位(11位以内)

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

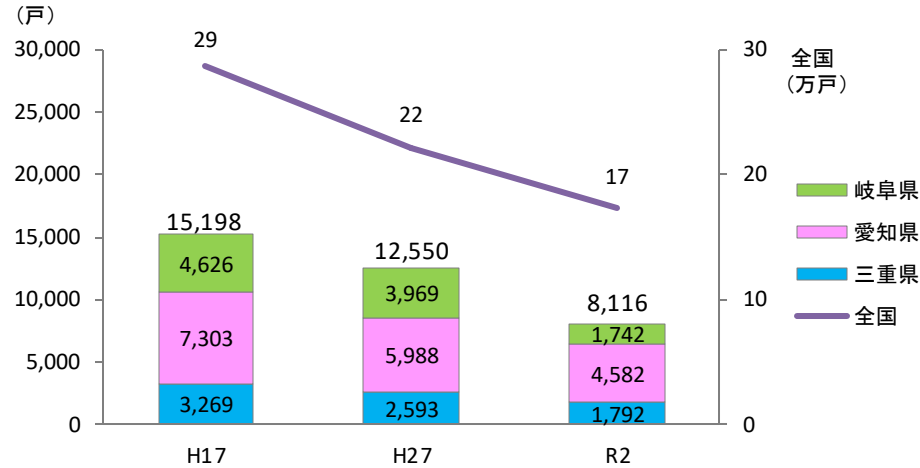
注:県計は、記載品目以外も含む果実全体の産出額であるため、品目別の産出額の合計と合わない。



### 3 担い手の状況

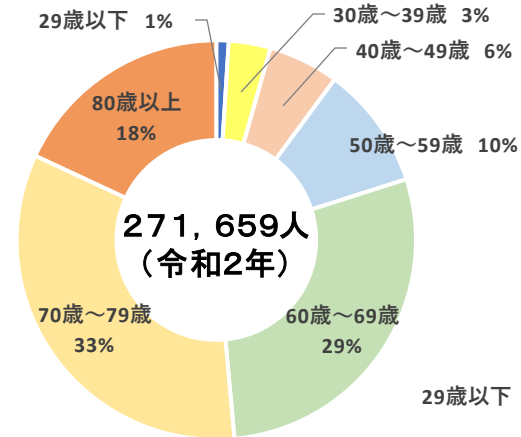
- 果樹の栽培農家数は、平成17年からの15年間で47%減少（全国では41%減少）。
- 樹園地面積規模別農家数は、0.3ha未満が50%であり、全国（35%）に比べ規模の小さい農家が多い。
- 年齢別では、70歳以上が58%であり、全国（51%）に比べ、やや高齢化が進んでいる。

#### ○果樹の栽培農家数の推移

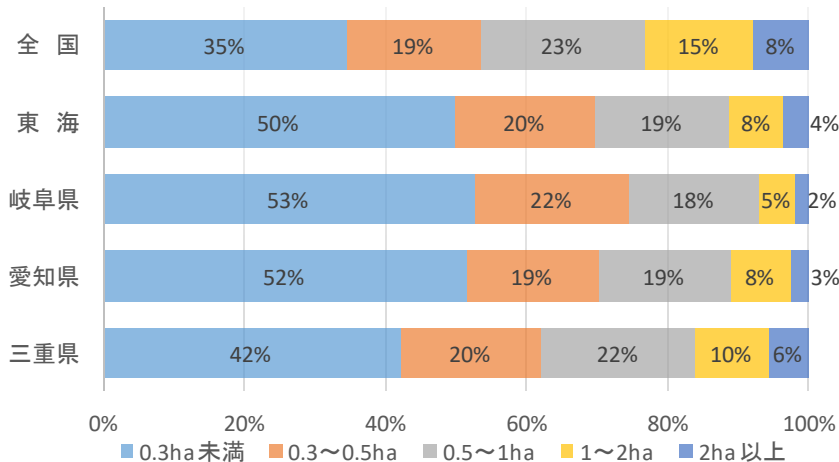


#### ○年齢階層別の基幹的農業従事者数(果樹部門)

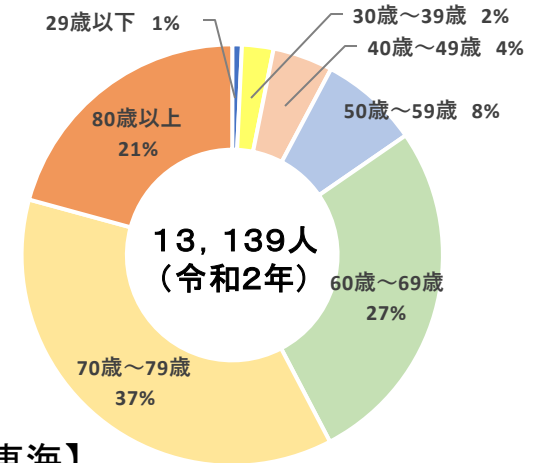
(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)(農業経営体(個人経営体))



#### ○樹園地面積規模別農家数(令和2年)



#### 【全国】



#### 【東海】

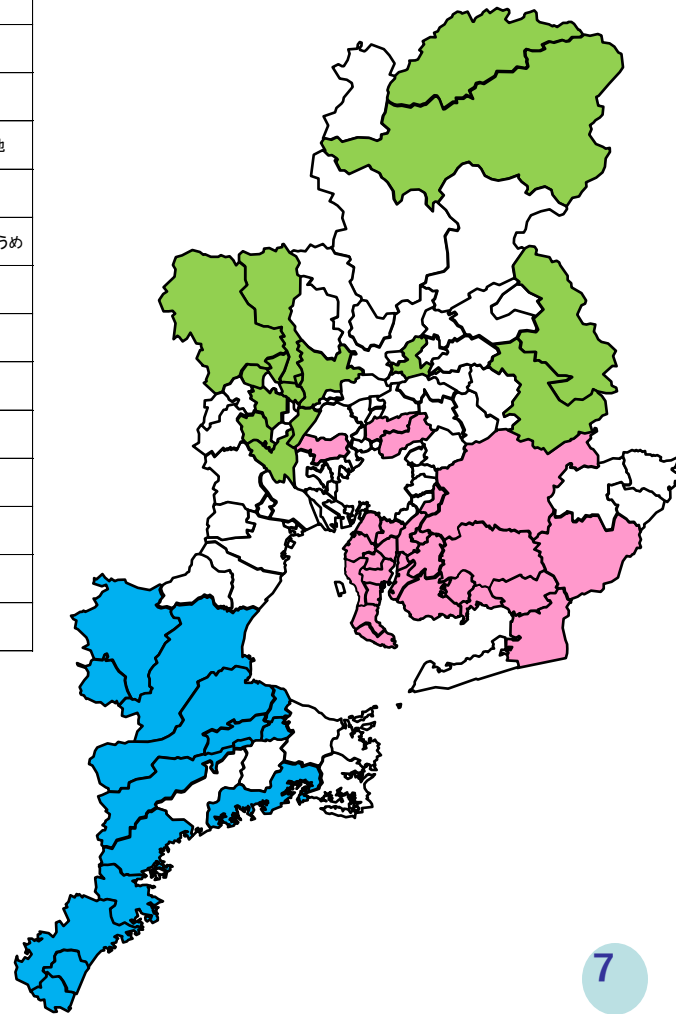
資料: 全て2020農林業センサス「農林業経営体調査報告書」

# (参考) 果樹産地構造改革計画の策定産地一覧

## 【果樹産地構造改革計画】

担い手の高齢化等により生産基盤の脆弱化が進む中、将来にわたって国産果実を安定的に供給するため、産地自らが産地の特性や意向を踏まえ、担い手の育成や農地利用、品種構成、販売戦略などについて、目指すべき方向や目標について定めた計画。

県名	地域等区分	産地協議会名	対象品目	県名	地域等区分	産地協議会名	対象品目
岐阜県 (5産地)	西濃	揖斐地域果樹産地協議会	かき	三重県 (12産地)	東紀州	三重南紀みかん産地再編構築委員会	みかん, その他かんきつ
		大垣市ナンシ生産連絡協議会	なし			御浜柑橘産地協議会	みかん, その他かんきつ
	中濃	山之上果樹産地活性化協議会	かき, なし			尾鷲地域果樹産地協議会	みかん, その他かんきつ他
	東濃	東美濃「クリ産地消(商)拡大」プロジェクトチーム	くり			紀北地域果樹産地協議会	みかん, その他かんきつ
飛驒	飛驒地域果樹産地協議会	りんご, もも, なし	南勢	南勢産地協議会	みかん, その他かんきつ, うめ		
東三河	蒲郡かんきつ産地協議会	みかん, その他かんきつ		玉城町次郎柿産地協議会	かき		
	「豊橋の柿」産地協議会	かき	中勢	津安芸地域果樹振興協議会	なし, かんきつ, うめ		
	「豊橋の梨」産地協議会	なし		松阪柑橘産地協議会	みかん, その他かんきつ		
	「新城柿」産地協議会	かき		みえなか梨産地協議会	なし		
JAあいち中央いちじく産地振興協議会	いちじく	多気果樹産地協議会		かき, みかん, もも他			
愛知県 (17産地)	西三河	JAあいち豊田いちじく産地振興協議会	いちじく	伊賀	伊賀地域ぶどう産地協議会	ぶどう	
		JAあいち三河いちじく産地振興協議会	いちじく		伊賀地域梨産地協議会	なし	
		JAあいち三河いちじく産地振興協議会	いちじく	東海計	34産地		
		JA西三河いちじく産地振興協議会	いちじく				
		JAあいち中央梨産地振興協議会	なし				
		西尾梨産地協議会	なし				
		豊田市桃、梨、柿産地振興協議会	もも, なし, かき				
		幸田町かき産地協議会	かき				
		みよし市柿・梨・ぶどう産地振興協議会	かき, なし, ぶどう				
		愛知県あいち知多かんきつ推進協議会	みかん, その他かんきつ				
		JAあいち知多いちじく産地協議会	いちじく				
祖父江ぎんなんブランド推進協議会	ぎんなん						
JA尾張中央果樹産地協議会	もも, ぶどう, かき, なし, いちじく						



R6.2 現在



～株式会社浅井農園 玉城キウイ園地における地域の活性～



7.3haの大規模な園地



霜除けネット、防風ネット



果樹棚での栽培風景



キウイフルーツの収穫風景

取組開始：令和元年4月～

関係機関：浅井農園(生産)、三重県農業研究所(技術サポート)  
ゼスプリインターナショナルジャパン株式会社  
(貯蔵・品質管理・販売)

栽培圃場：面積／8.7ha(うち栽培面積7.3ha)、植栽本数：7800本

## ○事業概要

三重県玉城町にて新たなキウイフルーツ産地を作り地域を活性化することを目的とし、本州最大規模のキウイフルーツ栽培圃場である。

圃場では高耐病性と高栄養価で食味に優れたゼスプリ®サンゴールドキウイを栽培している。栽培ではニュージーランドの新誘引技術を採用し、難しい枝の選抜や剪定作業の必要がない栽培方法を取り入れている。また、大規模な防風ネットを設置し、台風などの悪天候の影響を最小限するとともに、養液土耕栽培を行うことで高品質なキウイフルーツが栽培されている。

令和4年10月の初収穫では100トンが収穫され、「三重県産のゼスプリキウイ」として全国に出荷された。

## ○課題及び今後の展望

今後、年間350トンの収穫を目指すとともに、新たな生産農場の開設を計画している。

## ○連絡先

株式会社 浅井農園  
【TEL】059-230-1212